1573	天正1. 1.	謙信, 信長の勧めで越中椎名康胤らを許し, 富山城を接收、守備兵を置き帰国する(②617)
	3	越中椎名康胤, また謙信に離反したため, 謙信, 富山城にこれを攻撃する(②617)
	4.21	謙信, 越中から春日山城に帰る(②617)
	8.1	謙信, 越中に一向宗徒と戦い, 進んで加賀朝日城を攻める(②617)
	8.21	謙信, 加賀から帰国し, 関東出陣をはかる[[5]2770・3444・越佐史料5]
1574	天正2. 1. 9	謙信, 1月18日に越山することを告げ, 家康・信長の来援を求める[越佐史料5]
	2. 5	謙信, 上野沼田城に入り, 家康と策応して武田勝頼と戦おうとする[越佐史料5]
	3.11	謙信, 紀伊高野山無量光院と師檀の契約を結び, 将士および分国の師檀契約もこれに准じさせる[[5]4290]
	4.13	謙信, 北条氏政と利根川に対陣し, 上野金山城の由良成繁を攻撃する[[5]3465]
	5.14	謙信, 河隅忠清・庄田隼人に越中境海岸を守備させる。また直江景綱・山吉豊守に春日山城の修築を命じ, 実城・二ノ郭・三ノ郭に塙をめぐらせる[[5]3863]
	5.24	謙信, 越後への帰国にあたり武蔵羽生城将菅原左衛門佐らの戦功を賞し, 秋の再出馬を約す[越佐史料5]
	6. 3	謙信, 山田修理亮の知行地を郡司不入とする[越佐史料5]
	6.2	謙信, 吉江景資の子景泰を中条藤資の後嗣とし, その軍役を定める(②585)
	8. 3	謙信, 氏政が上野厩橋城を攻撃すると聞き, 関東に出陣する[越佐史料5]
	9	大見安田氏, 給分帳を作成する(②586)
	10. 1	謙信, 刈羽専念寺領を郡司不入地とする[[4]2310]
	10	謙信, 里見・北条対陣の報を受け, 里見氏の後詰のため越山, 12月帰る[[5]3839]
	12.中	謙信, 春日山城に帰る[[5]3724]
	12.19	謙信, 紀伊高野山無量光院清胤を師とし, 護摩灌頂を執行, 法印大和尚となる[越佐史料5]
1575	天正3. 1.11	謙信, 養子の顕景を景勝と改名させ, 弾正少弼の官途を与える[越佐資料5]
	2.16	謙信, 国内諸将の軍役を定める(②585)
	4.24	謙信, 北条氏政の撃滅を多聞天に祈る[[3]887 [5]2600]
	6.13	本願寺顕如, 頸城郡浄興寺の大坂石山籠城の労をねぎらい, 謙信に援助を依頼する[[4]2131]
	6	謙信, 和田六右衛門を頸城郡荒井町問屋に任じ(②376), 伝馬宿送役勤務を命じる(②577)
	7	謙信, 紀伊高野山に一院を再興して菩提所とすることを誓約, 剃髪の披露として黄金を寄進する[[3]848・849]
		◇このころ, 越後の本願寺門徒, 撰津の石山合戦に参戦する(②488)
1576	天正4. 3.	謙信, 越中日宮城主神保長職の求めにより, 越中に出陣する[越佐史料5]
	4	織田軍, 石山本願寺を包囲し, 兵糧攻めをはじめ(②486)
	5	足利義昭, 三宝院義堯に託し, 謙信に武田・北条二氏と和し, 足利氏の再興を図らせようとする[越佐史料5]
	5	謙信, 本願寺顕如(光佐)と連携する(②618)
	6	安芸毛利輝元, 謙信に義昭のために京都を回復するよう望む。謙信, これを承諾し, 越前・加賀の一向一揆とともに上洛することを報じる(②618)
	8. 2	毛利輝元, 兵船を大坂に進めて本願寺を助け, 謙信に出兵を求める[[3]388・673]

		8	謙信, 越中梶尾・増山の二城を陥れ、湯山城を包囲し、飛騨口に二城を築く(②618)
		12	謙信, 能登を制圧して、七尾城を攻囲する(②618)
			◇謙信, 越中に制札を掲げる(②619)
1577	天正5. 3.18		謙信, 分国中に関東出兵の陣触れをする[[5]2839・3778]
		3.27	義昭・輝元, 謙信に信長の紀伊雑賀攻めの際をつき、京都に出兵することを求める[[3]767・944]
		4	謙信, 能登富木・穴水などに守兵を置き、越後に帰る(②618)
		⑦.	謙信, 越中に出陣する(②618)
		9.15	謙信, 能登七尾城を陥れる(②618)
		9.23	謙信, 加賀湊川で信長軍と戦う(②619)
		9	山吉氏, 三条領闕所帳・三条衆給分帳を作成する(②586)
		10.25	謙信, 能登諸城に制札を掲げる(②620)
		11.16	謙信, 島倉泰明に能登珠洲・鳳至郡内の所領を宛行い、軍役を定める(②620)
		12.18	謙信, 能登から春日山城に帰る[越佐史料5]
		12.23	謙信, 上杉家中の名字尽手本を作成する[[3]886]
1578	天正6. 1.19		謙信, 関東出兵の陣触れをする(②620)
		2	謙信, 京都から画工を招き、寿像を描かせる(②625)
		3.13	謙信, 死去する(②592・631)
		3.24	上杉景勝, 春日山城の実城に移る。謙信の後継者の座をめぐり景虎と対立, 家臣団分裂し, 御館の乱起こる(②632 ③195・646)
		3.28	三条城将神余親綱, 景勝に忠誠を誓う[[5]3688]
		3	会津芦名氏の兵, 越後に侵入する[平等寺薬師堂墨書]
		4.2	村上城将本庄全長(繁長), 景勝に忠誠を誓う[[5]3689]
	4.晦		織田信長, 河田長親に内応を誘う(②634)
	5. 3		飯田長家・河隅忠清, 春日山城の金蔵の黄金の数量を調査する[[5]3326]。金蔵の金27,140両余にのぼる(②723)
	5. 6		栃尾城将本庄秀綱, 与板を攻撃。斎藤朝信, 与板方を救援する[[3]488 [5]4238]
		5.12	栃尾・下田の兵, 芹河を攻撃。与板からも出陣し戦闘となる[[3]488]
		5.13	景虎, 前関東管領上杉憲政の府中御館城へ逃れる(②632)
		5.24	会津芦名氏の家臣小田切治部少輔・小沢大蔵, 景虎に味方し, 栃尾城将本庄秀綱・三条城将神余親綱と連携し, 菅名荘に侵入する(②634)
		5.27	小森沢政秀, 信濃飯山に出兵する[信濃史料補遺]
	5.下		武田勝頼, 景虎の要請により信越国境に出兵する(②635)
		5	坂戸城将深沢利重ら, 上野国猿京に出陣し, 北条勢と戦う[[5]3277]
		5	景勝, 荒川館を攻撃する[[5]3435]
	6.上		景勝, 武田勝頼と同盟, 金500両と東上野を勝頼に与えることを約す(②635)
		6.11	景勝・景虎の軍, 大場・居多浜・府内で戦い, 景虎方の上杉景信討死する[越佐史料5]
		6	景勝, 魚沼郡堀之内の宮氏に下崎から発する舟1艘の舟役を免除する(②728)
		7.23	武田勝頼, 越後府中に在陣し, 景勝・景虎の争いを調停する(②635)
		8.2	武田勝頼の斡旋により, 景勝・景虎の和睦が成立する(②635)
		8.22	景勝, 故柿崎景家遺臣の忠信を賞し, 孫千熊丸(憲家)に柿崎氏の名跡を返す[越佐史料5]
		8.22	景勝, 能登国塩津の四郎右衛門尉に対し, 正院出湊の船1艘の諸役を免許する(②398・730)
		8.28	景勝・景虎の和睦が破れ, 武田勝頼, 甲斐に帰る(②635)
	9. 2		上野厩橋城将北条景広, 越後刈羽郡北条城に入り, 景虎方に加担する[越佐史料5]

	9.中	景虎, 東条惣介・神余親綱に, 蒲原郡の城米3000俵を急ぎ届けるよう命じる(②637)
	9.下	栃尾城将本庄秀綱, 景虎方の加勢として御館城に入る(②637)
	9	武田軍, 魚沼郡妻有に入り景勝を支援する(②637)
	9	会津芦名氏の家臣金上盛備・小田切弾正忠・同孫七郎, 蒲原郡安田城を攻める(②636)
	10	出羽伊達輝宗, 越後に侵入する[越佐史料5]
	10	刈羽郡北条城の北条景広, 御館城に入る(②637)
	10.1	景虎, 鎌倉鶴岡八幡宮に春日山奪還を祈願する書を送る[[5]4070]
	10.24	景勝, 御館城を攻撃。景虎方の本庄秀綱, 敗れて栃尾に帰る(②637)
	11.2	武田勝頼, 信濃から越後への粮米の運送を止める[辛丑訪文書]
	12	景勝と武田勝頼の妹菊姫との婚約がととのう[[3]662]
1579	天正7.2.1	景勝, 御館城を攻撃。景虎方の北条景広負傷する(②637)
	3.17	御館城落城する。上杉憲政は殺され, 景虎は鮫ヶ尾城に逃れる(②638)
	3.24	景虎, 鮫ヶ尾城で自刃する(②638)
	4	築地資豊, 景虎方の黒川清実を鳥坂城に攻略する(②638)
	6	伊達輝宗の仲介により, 景勝, 黒川清実を許す(②638)
	10.2	武田菊姫, 景勝に嫁す[越佐史料5]
1580	天正8.2.17	景勝, 柏崎町に掟を発する(②704・711)
	3	景勝, 魚沼郡三佐島郷に2年間諸役免除の触を出す(②640・705)
	③.24	織田信長の臣柴田勝家, 加賀に入り, 越中在陣中の河田長親を誘う[越佐史料5]
	③.	北条氏政の兵, 魚沼郡荒戸城を攻撃する[越佐史料5]
	③.26	景勝, 府中を発ち中郡に向かう(②639)
	4	景勝, 三条城を攻撃する(②639)
	4.22	景勝, 栃尾城を攻略する(②639)
	6	三条城, 城兵の内応により落城する(②639)
	7.7	景勝, 三条城の仕置を行う(②639)
	7.13	景勝, 栃尾城の仕置を行う(②639)
	8	景勝, 刈羽郡榎村百姓に還住を呼びかける(②640・705)
1581	天正9.1.28	景勝, 魚沼郡上弥彦社(魚沼神社)に修造料として河船1艘を寄進する(②728)
	3.1	景勝, 越中に出陣する[[3]654]
	4.8	越中松倉城将の河田長親死去(②666)
	4	景勝, 佐渡の潟上(本間)帰本齋と連携する(②652)
	4	景勝, 越中小出に在陣する[[5]3305]
	4	景勝, 越中松倉・魚津両城を仕置し, 春日城に帰る[越佐史料6]
	5.2	景勝, 上条宜順(政繁)を越中松倉城に派遣する[上杉古文書]
	5	新発田重家, 織田信長と結び, 景勝と対抗する(②641・666)
	5	竹俣慶綱, 新発田重家と新潟津の沖の口(入港税)を争う(②641)
	6.15	景勝, 越中境および頸城郡西浜に人留番所を設ける(②727)
	6.22	景勝, 蓼沼友重を蒲原郡木場城将とする(②641)
	7	景勝, 柏崎町に制札を出す[[4]2278]
	8	武田勝頼の臣長井昌秀・跡部勝資・長坂光堅, 上杉景勝と新発田重家の間の調停を試みる(②641)
	9.1	毛利秀広, 春日山城内で山崎専柳齋と直江信綱を斬殺し, 自身も殺される(②666)
	9	景勝, 直江信綱の跡を樋口兼続に嗣がせる(②667)
	11.19	景勝, 安田治部少輔に阿賀野川を新潟港まで下る「小河船」1艘の通行税を免除する(②361・729)
	12.1	景勝, 柏崎町に伝馬・宿送などにつき掟を出す(②704・726)
1582	天正10.2.26	会津芦名盛隆, 景勝と新発田重家の間を調停する[[3]719 [4]1661・1662]

	3. 1	景勝, 蔵田五郎左衛門に青苧座の権利を安堵し, 国中から青苧公事を徴収することを命じる(②392)
	3.11	武田勝頼, 信長の攻撃を受け自害する(②642)
	4.26	景勝, 佐渡久知・潟上の両本間氏と誓書を交わす(②652・757)
	4	景勝, 上条宜順を新発田重家のもとに派遣する(②666)
	5	景勝, 織田軍に対抗し越中に出陣する。森長可の越後侵入の報を受け, 急ぎ帰国する(②644)
	6. 2	本能寺の変。信長自害する(②642・644)
	6. 3	上杉方の越中魚津城, 織田軍に敗れて落城する。城将, 全員戦死する(②644)
	6	景勝, 北信に侵入し, 川中島4郡を押え, 上杉家臣信濃衆約70人の本領を安堵する(②645・688)
	7	景勝, 信濃長沼に掟を出す(②646)
	8. 5	景勝, 越後に召し連れる信濃衆の知行分の諸役を免除する[[5]3503]
	8. 8	景勝, 信濃葛山衆へ定を出し, 農民の還住を命じる(②689・705)
	8. 9	景勝, 新発田攻撃のため府内をたち下郡に向かう(②642)
	8.25	景勝, 五十公野に着陣する(②642)
	9.晦	景勝, 新発田城を攻めきれず, 兵を引く(②642)
	12	景勝, 「夢想連歌」百韻の連歌会を催す(②743)
1583	天正11. 1.12	景勝, 羽柴秀吉と和し, 誓書を送る(②644)
	2. 7	羽柴秀吉, 誓書を景勝に送り, 越中佐々成政の攻撃を求める(②644)
	2.14	佐々成政, 越後に侵入する。越中の諸将, 景勝の出兵を求める(②644)
	2.21	景勝, 信州葛山衆を越後府内に在勤させ, 妻子とも府内に移住させる(②689)
	2	景勝, 村上景国に代えて上条宜順に信濃諸将を統轄させる(②647・666・688)
	3.17	羽柴秀吉, 上杉景勝に越中出兵を求める(②644)
	3	信濃屋代秀正, 徳川家康に応じ, 上杉方に背く(②647)
	4. 8	景勝, 信濃に出馬して屋代秀正を攻撃する(②647)
	4.17	景勝, 糸魚川に新城を築き, 越中牢人衆を入れ, 秋山定綱を横目とする(②645・684)
	4	羽柴秀吉, 越前・加賀・能登・越中を平定, 寺内織部を景勝に遣わして景勝の向背を問う[越佐史料6]
	5. 1	景勝, 府内を発ち下郡に向う(②643)
	5	景勝, 新潟に寄居を築き, 新発田勢に備える(②643)
	6.17	越中の佐々成政, 新発田重家に羽柴秀吉との連絡を勧める(②643)
	6	景勝, 大石元綱を羽柴秀吉に遣わし, 誓書を入れて同盟を固める[越佐史料6]
	7.12	景勝, 本庄繁長に幕紋の使用を許し, 故上杉景信の座席を与える[越佐史料6]
	7	景勝, 国内に徳政令を出し, 町方, 農村の復興をはかる(②705)
	8.中	景勝, 新発田攻撃のため出兵する(②643)
	8	羽柴秀吉, 景勝に人質の提出を求める(②648)
	9.11	景勝, 下郡から春日山に帰る(②648)
	10. 9	景勝, 清水内蔵助に天神山城在城を命じる[越佐史料6]
	12.13	景勝, 宮島将監に栃尾城在城を命じる[越佐史料6]
	12	景勝, 板屋光胤の信州への帰国に際し, 宿送り30人と雪踏み人足の徴発を認める(②375)
1584	天正12. 2.11	景勝, 栗林政頼に魚沼郡荒砥城在城を命じ, 荒砥関所通行の者から関銭徴収を命じる(②728)
	2.14	景勝, 桐沢具繁に琵琶島城在城を命ずる[[5]2766・越佐史料6]

	4.26	景勝, 信濃川中島4郡の兵を虚空蔵山に在陣させ, 島津義忠を横目とする [越佐史料6]
	4	景勝, 信濃塩崎に禁制を出す[越佐史料6]
	5.1	会津の芦名氏, 景勝の下郡出馬の際に船を調達することを約束する(②729)
	5.13	上条宜順, 信濃海津城へ入る(②647・666)
	5.23	景勝, 信濃から府内へ帰る[[3]371 [5]2768・3634]
	6.2	景勝, 上条宜順の子を養子として羽柴秀吉の人質に送る(②648・666)
	6	越中の佐々成政, 羽柴秀吉に抗して, 景勝に同盟を求める。景勝, 応ぜず [越佐史料6]
	8. 2	景勝, 信濃に出陣する[三条土田氏所蔵文書・越佐史料稿本]
	8	景勝, 後藤勝元を派遣し, 佐渡羽茂・河原田両本間氏の抗争を調停する (②652)
	9	景勝, 前田利家との約束により須田満親を越中境に出馬させる[[5]3765・ 4099・4333]
	10.26	景勝, 越中境要害を攻撃する(②645)
	12	尊朝法親王, 長谷三位法眼を越後に派遣し, 景勝と新発田重家の間を調 停する(②644)
1585	天正13. 3.	景勝, 再び後藤勝元を派遣し, 佐渡の領主間紛争を調停する(②652)
	5.23	景勝, 信濃出陣から春日山城に帰る[覚上公御書集]
	6.12	景勝, 上条宜順に代え, 須田満親を信濃海津城将とし, 川中島4郡を統轄 させる(②667・688)
	7.15	信濃の真田昌幸, 景勝と同盟し, 誓書を交換する(②647)
	7	景勝, 越中境に出陣する(②645)
	8	景勝, 越中から春日山城に帰る[覚上公御書集]
	12.1	景勝, 信濃川中島4郡に掟を出す(②648)
1586	天正14. 2. 2	景勝, 漢和連句百韻の会を催す(②743)
	5	尊朝法親王, 再び長谷三位を越後に派遣し, 景勝と新発田重家の間を調 停する[[4]2186]
	5.2	景勝, 上洛のため春日山城を出発する(②648)
	6. 7	景勝, 京都に入る(②648)
	6.12	景勝, 聚楽第で豊臣秀吉に謁見, 臣従の礼をとる(②488・649)
	6.22	景勝, 参内して従四位下, 左近衛権少将弾正少弼に任じられる(②649)
	6.23	秀吉, 景勝に佐渡の支配を命じる(②649・652・757)
	7. 6	景勝, 春日山城に帰る[越佐史料稿本]
	7.1	景勝, 秀吉に「銀五百枚, 山布三百端」を贈る(②356・390)
	7.17	景勝, 佐渡の久知本間与十郎に春日山城出仕を求める(②652・757)
	8. 3	秀吉, 景勝に東国への申次ぎを命じる[[5]3477・3478]
	8. 9	景勝, 新発田攻めのため春日山城をたち, 下郡に向かう(②650)
	9	秀吉, 木村清久を越後に派遣し, 景勝と新発田重家の間を調停する(② 650)
	9	景勝, 下郡から春日山城に帰る[越佐史料稿本・歴代古案]
	10. 1	景勝, 新潟・沼垂・蒲原を直轄とし, この日沼垂と蒲原に掟を出し, 新潟津 の普請を命じる(②368・720~722)
	10. 6	新発田重家, 秀吉の調停を拒否する[覚上公御書集]
	11. 4	秀吉, 新発田重家討伐に方針を変更, 景勝に対し重家討果たしを命じる (②650)
		◇嶋垣氏, 上杉景勝の沼垂攻めに忠勤を励んだ功により, 沼垂町支配と 上杉氏蔵宿を命じられ, 所有回船の関税免除される(③644)
1587	天正15. 4. 4	景勝, 春日山城から下郡に出陣する(②651)
	5.13	景勝, 水原城を攻め落す(②651)
	6. 1	蒲原郡の木場在番衆に掟を出す[越佐史料稿本・歴代古案]

		8	芦名義広, 小川荘石間を本拠とする家臣小田切弾正に, 景勝のため船の調達を命じる(②730)
		9.14	新発田の赤谷城が落城する(②651)
		10.25	新発田城が落城し, 新発田重家戦死する(②651 ③150)。その後, 新発田城には景勝代官清水内蔵介・宮島三河守が在番する(③150)
		11	大国実頼, 越後国統一の報告に上洛する[[3]742]
1588	天正16. 1.11		景勝, 家中の士を集め, 初春の連歌会を催す(②743)
		1.27	景勝, 連句会を催す(②746)
		3.1	頸城郡西海村, 御前山村と山論, 「鉄火」が行われる(②709・794)
		4	景勝, 再び上洛のため出発(②651)
		5.12	景勝, 京都聚楽第で豊臣秀吉と対面する(②651)
		5.26	景勝, 従三位に叙される(②651)
		6.15	秀吉, 景勝に在京賄料として, 近江の蒲生・野洲・高島郡内で1万石の地を与える(②651)
	8. 4		景勝, 大坂の末吉勘兵衛の持船6艘に対し, 「分国諸浦往還」の自由を許す(②408・731 ③726)
		8.2	色部長真, 従五位下修理大夫に任じられる[[4]2054・2055]
		8.26	景勝, 春日山城に帰る[覚上公御書集]
		8	秀吉, 景勝に同道した直江兼続・色部長真・須田満親に豊臣姓を授ける(②651)
		8	上杉景勝, 帰国の途中で後藤勝元を佐渡へ送り, 佐渡の抗争を調停させる(②653)
		8	本庄繁長, 出羽庄内に侵入する(②656)
		11.24	景勝, 繁長の庄内制圧を祝す[[5]3176]
1589	天正17. 2.		景勝, 新発田に制札を出す[[5]3418]
		2	景勝と芦名義広の和睦が成立する(②655)
		6.12	景勝, 佐渡に進攻する(②653・758)
		6.16	景勝, 佐渡を平定する(②653・690・758)
		6.24	景勝, 佐渡平定を豊臣秀吉に報告する(②653)
	6~7.		佐渡各地に制札を出す(②653・761)
	7. 1		出羽庄内の大宝寺千勝丸(義勝), 庄内問題で上洛する(②656)
	8. 1		景勝, 佐渡の仕置を行う(②653・690)
		10.1	景勝, 秀吉の小田原攻めの軍役として, 100石につき6人半役を命じられる(②654)
1590	天正18. 3. 1		景勝, 前田利家に従い, 北条氏攻撃のため信濃経由し上野に向かう(②654)
		3	景勝, 小田原出陣にあたり, 東行祝賀の百韻の会を催す(②747)
	8. 1		秀吉, 景勝に出羽国庄内3郡の支配を命じる(②657・691)
	8.下		景勝, 庄内に入り, 検地する(②657)
		9.18	秀吉, 景勝に出羽国仙北・秋田地方の検地を命じる(②658)
		10	出羽国仙北・庄内地方に一揆おこる。景勝, その鎮圧にあたる(②658)
		10	景勝, 色部長真に出羽国平鹿郡大森城在番を命じる[色部史料集]
		11.2	景勝, 出羽庄内の仕置を終えて春日山城に帰る(②658)
		12	景勝, 大宝寺千勝丸に急ぎ上洛を命じる[[5]3350]
1591	天正19. 3.15		秀吉, 朝鮮出兵のため, 景勝に1万石につき200人の軍役を命じる(②659・675)
		3	色部長真, 出羽仙北から帰国する[色部史料集]
		4	出羽庄内の藤島付近で一揆おこる。直江兼続, 藤島に向かい, これを治める(②658)。秀吉, 一揆扇動の疑いにより本庄繁長を改易する(②659・691)
		6.2	秀吉, 景勝に陸奥奥郡(九戸一揆)仕置の出兵を命じる[山形県史]
		7.13	景勝, 九戸政実を討つため奥州奥郡に向かう(②659)
		7.22	秀吉, 景勝に肥前名護屋に5000人の出兵を命じる(②659)
		8	景勝, 分国中に京升の使用を命じる(②711)

	10.上	景勝, 陸奥から春日山城に帰る(②659)
1592	文禄1. 2. 1	景勝, 蒲原郡杉名荒野村の復興のため, 諸役を免除する(②706)
	3. 1	景勝, 5000人の軍勢を率い春日山城を発ち, 4月上旬肥前名護屋に着く(②659)
	6. 3	直江兼続, 肥前名護屋の陣中で漢和連句の会を催す(②747)
	8.14	色部長真, 病気のため肥前名護屋から帰国を許される(②660)
	8	景勝, 肥前名護屋に回送させた米3000石を秀吉に献上する(②660・673・732)
	11	景勝, 佐渡各地で検地を行う(②713・764)
1593	文禄2. 1.10	景勝, 陣中で連歌会を催す(②747)
	3.18	この日から佐渡西三川の砂金, 毎年3駄ずつ秀吉の伏見御蔵へ納められる(③538)
	3	景勝の軍勢, 大谷吉継の手に属し, 朝鮮の目楚(普州)城を攻囲する(②660)
	6. 2	景勝, 秀吉の名代として朝鮮へ渡る(②662)
	8	朝鮮在陣中の藤田信吉配下の者310人のうち44人が病気となる(②660)
	9. 8	景勝, 肥前名護屋にもどり, 同月下旬越後に帰る(②662)
	10.2	出羽の秋田実季、能生の大島九右衛門尉の800石積み船の諸役を免除する(②406・732)
1594	文禄3. 1.19	秀吉, 景勝に伏見城惣堀の普請役4000人を割り当てる(②662)
	2.15	景勝, 伏見城惣堀普請のため人夫を率い春日山を出発, 普請を監督する(②662)
	3.16	寺泊から安田筑前守の兵糧100石, 新潟から蓼沼友重・矢野加左衛門の兵糧50石が敦賀に海路輸送される(②732)
	7	直江兼続, 居城を越後におくか, 信濃におくか, 出羽羽黒山に神意をうかがう[越佐史料稿本]
	9.19	上杉氏の佐渡代官, 大河・羽丹生の山論を裁定する(②710)
	9	「文禄三年定納員数目録」が作成される(②667・674)
	10.28	秀吉, 京都の上杉邸を来訪する(②663)
		◇景勝, 土貢・棟役調査を命じる(②673・678)
		◇蒲生氏郷の「知行高目録帳」に津川分として船頭御賄分631石がみられ, 津川船の組織化がはかられていた(③717)
1595	文禄4. 1.17	秀吉, 越後・佐渡の金山代官を景勝に命じる(②674・724・763)
	2. 9	直江兼続, 刈羽郡藤井堰の掟を出す(②708)
	3.19	村上城将春日右衛門, 岩船郡三面村に法度を出し, 無手形の者の番所通行を監視させる(②706)
	5	佐渡の鶴子銀山に, 石見国から忠左衛門, 忠四郎, 石田忠兵衛ら3人が見立人として訪れ(②763), 鶴子銀山で初めて坑道掘りが開始される(③507・524)
	6	増田長盛の手代, 秀吉の命により蒲原郡南部で太閤検地を行う(②673・713)
	7	景勝上洛, 伏見に邸地を与えられ, 12月屋敷が竣工する(②663)
	10	越後・信濃の検地を終わり, 御検地帳目録を御蔵におさめる(②714)
	12	京の妙心寺住職南化玄興, 直江兼続を賞し, 秘蔵の「前漢書」12巻を贈る(②756)
1596	慶長1. 9.16	兼続, 本堂山城将丸田俊次に対し, 分国境の厳戒と阿賀野川笹堀の渡しを設置し, 人と荷物の監視を命じる(②727)
	10	魚沼郡北部で土貢調査を行う[越佐史料稿本]
1597	慶長2. 1.21	秀吉, 景勝に伏見舟入普請の手伝いを命じる(②663)
	2.1	兼続, 京都や他国への詰夫の条規を定める(②664)
	2.16	景勝, 春日山城普請のため, 諸将に100石につき5人の役夫負担を命じる(②664)
	3.13	佐渡久知郷の中使・百姓, なた銭について申合せする[[5]3015]
	10~12.	上杉氏の知行制が改められる(②673・676・715)

	10.15	新潟の二郎右衛門, 秋田から敦賀に輸送する豊臣家御用杉の運搬にあたる(②732)
	11	越後国郡絵図が作成される(②692・714)
	12.19	古志郡平の守門神社, 平・原・那木野・宮沢・七谷に高103石7斗7升を所有する(③814)
		◇上杉氏, 越後国内の検地を実施する(②715 ③195)
		◇村上町軒数, 252という(③619)
		◇河村彦左衛門, 佐渡で「一国御成箇御年貢吟味」をして増年貢を課し, 百姓と「不縁」となる(③281)
		◇国上寺, 弥彦神社で大般若転読・不動護摩その他を執行し, 101石余が充てられる(③819)
1598	慶長3. 1.10	豊臣秀吉, 上杉景勝を会津へ移す(②13・773③3・4・15・49・674・706・783)
	4. 2	秀吉, 堀秀治を越前北庄から春日山に, 村上頼勝を加賀小松から村上に, 溝口秀勝を加賀大聖寺から新発田に移す(②13・787③3・4・15・143・150・173・236・243・252・615・674)
	6.11	蒲原郡関根蔵丞, 新発田藩から茨曾根新田分を与えられ, 開発をはじめ(③457)
	7. 6	この日から8月にかけて, 新潟の石井彦五郎, 出雲崎の橋屋次郎左衛門, 佐渡沢根の甚助ら, 秋田氏が敦賀に送る豊臣家御用杉の運搬にあたる(②406・732③737)
	7	秀吉, 太閤検地方式により領内総検地を開始する(②791③4・20・195・208・225・238・252・292・298・409・495・783)
	9.13	刈羽郡妙法寺村検地帳に, 草水油御年貢3石とみえる(⑤374)
	12	秀吉老臣堀直政, 刈羽郡三島神社・鶴川八幡に寄進状を, また頸城郡松之山村へは空き家分の白布・青苧代銀用捨状を発給する(③19)
		◇堀秀治の与力大名として, 弟の親良が古志郡蔵王堂城へ, 堀直奇が魚沼郡坂戸城に入る(③16・115・577)
		◇秀吉, 頸城郡根知城に弟左門を置く(③571)
		◇栃尾城廃城となる(③680)
		◇堀直奇, 浄興寺末正覚寺を信濃国水内郡から長岡に招く(③785)
		◇秀吉に上納された黄金の内, 越後産の金が約3分の1を占める, 佐渡産の金を合わせると, 越佐の金が全体の約5分の3にのぼる(②723 ③541)
1599	慶長4. 2.13	秀吉, 頸城郡新井宿に対し, 手形不所持の者に伝馬・継人足を出すことを禁止する(③688)
	2.14	加賀の前田利家, 能登・越中から佐渡へ金掘りに渡る者1人につき, 5貫目を課税する(③527・535)
	3	新発田藩, 蒲原郡鶴森村の信濃川築堤工事を小吉島組の村々に命じる(③455)
	10.1	新潟の石井彦五郎船, 蝦夷松前へ赴き, 領主松前(蛸崎)氏から諸役免除の特権を与えられる(③737)
	12	徳川家康, 田中清六に対し, 北国諸港の諸役を免じる(③49)
		◇秀吉, 根知城に堀下総守を置く(③571)
		◇教如, 佐渡光福寺・専念寺に蓮如・親鸞の真影を下付する(③799)
1600	慶長5. 1.25	秀吉, 姫川渡しの船頭に高10石の扶助を与える(③688・721)
	2.22	新発田藩主溝口氏, 本成寺領300石を安堵する(③807)
	3	秀吉, 福島に城移築計画をたてる(③26)
	6.14	家康, 新発田の溝口秀勝に佐渡出兵が必要ない旨を伝える(③49)
	7.22	景勝の軍勢, 六十里越から越後に侵攻, 越後一揆起こる(②791 ③4・23・143・173・195・783)
	8. 1	魚沼郡一揆勢, 堀之内の下倉城を攻め, 城将小倉主膳正, 討死する(③24)
	9.15	家康, 関ヶ原の戦いで石田三成軍を破る(②786・793 ③15・507)

		9.21	家康, 蔵王城将堀親良に越後一揆平定に対する感状をおくる(③25)
		9.24	上杉氏代官河村彦左衛門, この日から28日にかけて佐渡全島の検地を行う(②13・767・787 ③5・49・281・331・462)。彦左衛門, 検地にあたり, 寺領を旧来の3分の1に削減する(③819)
		10. 5	秀忠, 溝口秀勝に越後一揆平定に対する感状をおくる(③25)
			◇越後の真言宗寺院・修験, 越後一揆に際し, 上杉氏に荷担したため, 堀氏の弾圧を受けると伝えられる。これに対し真言宗寺院, 堀氏に協力する(③783・785)
			◇糸魚川清崎城の築城を開始する(③571)
			◇田中清六, 家康の命を受け, 佐渡受取りに渡海する。上杉氏代官河村彦左衛門これに応じ, 椎野与市, 反対し誅滅される(③49・507)
			◇田中清六, 佐渡五十里と下戸に十分一役所を設置する(③535)
1601	慶長6. 5. 5		家康, 田中清六に朱印状を与え, 佐渡金銀山に金掘りを集めること, 河村彦左衛門を登用することを命じる(③49・527)
		6	家康, 佐渡を直轄地とする(③3・5・39・49・507)
		8	会津藩仕置奉行岡半兵衛, 津川を居城とし, 小川荘の支配にあたる(③188)
			◇佐渡相川に大鉱脈発見される(③50)。佐渡代官田中清六, 金銀山経営に運上入札制を採り入れる(③507)
			◇秀治, 糸魚川清崎城に堀下総守を置く(③571)
1602	慶長7. 2.		新発田藩主溝口宣勝, 信濃川沿いの上八枚・大郷・鳥屋・合子ヶ作の4か村に, 手形所持の者に船を出すことを禁じる(③712)
		4	堀秀治, 佐渡の成敗を命じられる(③69)
		8.12	堀下総守, 魚沼郡須原村宮原の守門神社に社領を寄進する(③815)
			◇家康, 旗本の中川主税・吉田佐太郎を佐渡代官とする。前任の田中清六・河村彦左衛門と合わせ, 代官4人となる(③49)
			◇佐渡金銀山からの運上銀1万貫にのぼる(③507・511)
			◇教如, 佐渡西蓮寺に親鸞・聖徳太子真影を下付する(③799)